



平成24年度 自転車月間「自転車の日」記念行事 事業報告書

サイクルドリーム フェスタ2012

主 催：自転車月間推進協議会

事務局：財団法人日本自転車普及協会

後 援：内閣府/警察庁/総務省/文部科学省/経済産業省/国土交通省/環境省/東京都/財団法人JKA

日本が生んだ世界のスポーツ

KEIRIN



この事業は競輪の補助を受けて実施したものです。

<http://ringring-keirin.jp>

実施概要

「自転車月間」は昭和56年5月に「自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に関する法律」が施行されたことを記念して制定されました。その目的は自転車の安全教育や乗車マナーの向上と自転車を通じての国民体育の向上を図ることで、「自転車月間」の趣旨の浸透と参加意識の高揚を図るために主に若年層を対象とし、毎年5月に各種イベントを実施しています。平成10年度からは5月5日を「自転車の日」として創設し、広く一般市民への自転車月間の設定趣旨の浸透を図ってきました。さらに、平成22年度からは地球環境に優しいなど数々の利点を持つ自転車の活用を一層高める方策として、自転車の利用者自らが守るべき原則及び自転車を取り巻く環境整備について啓発するための「自転車市民権宣言」の全国的な普及啓発活動に取り組んでいます。

目 的：「自転車月間」「自転車の日」を機に自転車に関する各種行事を実施し、自転車の安全教育や乗車マナー向上、自転車を通じての国民体育の向上を図る。

名 称：平成 24 年度「自転車の日」記念行事〈サイクルドリームフェスタ2012〉

日 時：平成24年5月4日(金・祝)～5月5日(土・祝) 9:30～16:50

会 場：科学技術館(東京都千代田区北の丸公園2-1)1階 9・10号館

主 催：自転車月間推進協議会

後 援：内閣府／警察庁／総務省／文部科学省／経済産業省／国土交通省／環境省
東京都／財団法人JKA

内 容：

☐ ピーポくんの交通安全教室	☐ おもしろ自転車クイズ
☐ 自転車の歴史とメカニズム	☐ 自転車安全走行体験
☐ ゴーカイジャーショー	☐ バルーンパフォーマー
☐ 自転車の安全利用紹介パネル	☐ 自転車発電ウエスタントレイン
☐ 自転車シミュレーター	☐ おもしろ自転車試乗会
☐ スピードチャレンジ	☐ クイズラリー
☐ 針金自転車細工	☐ 自転車市民権宣言署名活動
☐ 災害用自転車の展示	☐ 自転車とヘルメットの展示
☐ 自転車競技の紹介	

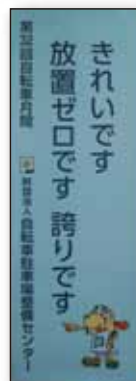
来場者数：3,067人(2日間計) 【5月4日(雨):1,963人 5月5日(晴):1,104人】



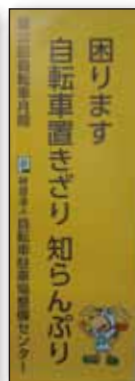
自転車月間キャンペーンポスター



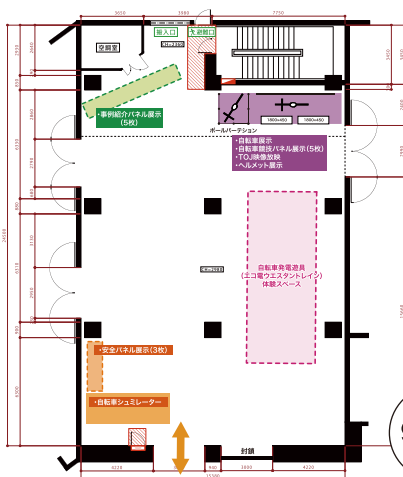
(財)全日本交通安全協会



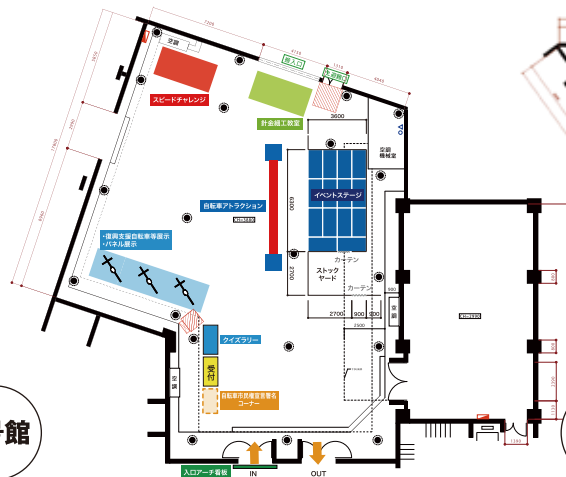
(財)自転車駐車場整備センター



会場レイアウト



9号館



10号館

サイクルドリームフェスタ2012

ステージイベント

ピーポくんの交通安全教室

5/4(金) 13:00~13:30

ピーポくんによる交通安全教室を実施。
親子で自転車安全利用五則を学んだ。
〈協力:警視庁〉



おもしろ自転車クイズ

5/4(金) 12:00~12:30、13:30~14:00
5/5(土) 13:00~13:30、15:00~15:30、16:00~16:30

自転車活用推進研究会の内海潤氏によるクイズ大会を実施。自転車のルールやマナーを学んだ。



自転車の歴史とメカニズム

5/5(土) 12:00~12:30、14:30~15:00

自転車文化センター学芸員の谷田貝一男氏による自転車セミナー。「自転車の歴史とメカニズム」を学んだ。



自転車安全走行体験

5/4(金)・5/5(土) 適宜実施

幅40cm×長さ8mのマットの上を片手運転で走行し、危険性を体験した。



ゴーカイジャーショー

5/5(土) 11:00~11:30、13:30~14:00

スーパー戦隊ゴーカイジャーショーを開催。子どもたちはゴーカイジャーに「自転車の交通ルールを守る」と約束した。その後握手会や写真撮影会を行った。



バルーンパフォーマー

5/4(金) 11:00~11:30、14:30~15:00

ピエロが自転車や動物、キャラクターなどをバルーンで作り、子どもたちにプレゼント。



自転車の安全利用 紹介パネル

自転車の安全利用を積極的に取り組んでいる団体の活動を紹介。

交通安全子ども自転車東京大会において、8連覇を達成した八王子市立元木小学校。八王子西寺駐在所の杉田警部補夫妻は、長年にわたり地元の子どもたちに「自転車の安全利用」を指導する活動を続けている。会場内では杉田警部補夫妻の活動内容や子どもたちが熱心に交通ルールやマナーを学ぶ様子、実技テストに向けた練習風景などをパネルで紹介した。

〈協力：警視庁高尾署〉

近年の自転車ブームに加え東日本大震災後はその利便性が認められ自転車愛好者は、さらに増えてきています。同時に、ヘッドフォンの着用や携帯電話を使用しながらの運転などルール違反、ブレーキなしの無改造車などの自転車も増加しているのが現状です。自転車を安全・安全に乗りこなすためには定期的な点検整備とともに、交通安全規則の教育が必要で、特に小学生の頃にはそれらに身をつけることはとても重要です。

地域の子どもたちに「自転車の安全利用」を指導する駐在さんをご紹介します

八王子市西部の地域に、夫婦で地元の子どもたちに「自転車の安全利用」を指導する駐在さんがいます。八王子西寺方駐在所の杉田警部補と妻の房子さんです。

交通事故を少しでも減らしたいと、平成元年から八王子市立元木小学校の子どもたちを交差点の境内に集め、自転車の正しい乗り方や、交通ルールを教えています。

また、「交通安全子ども自転車東京大会」に出場し、現在8連覇中。市内小学校の模範校として、交通ルールの向上に励んでいます。

杉田さんは、平成23年「都民の警察官」として、都内44,000人の警察官の中から表彰を受けました。房子さんとの活動が認められての受賞です。

表彰式には、交通安全子ども自転車東京大会個人の部で優勝した子どもたちも、かけつけました。

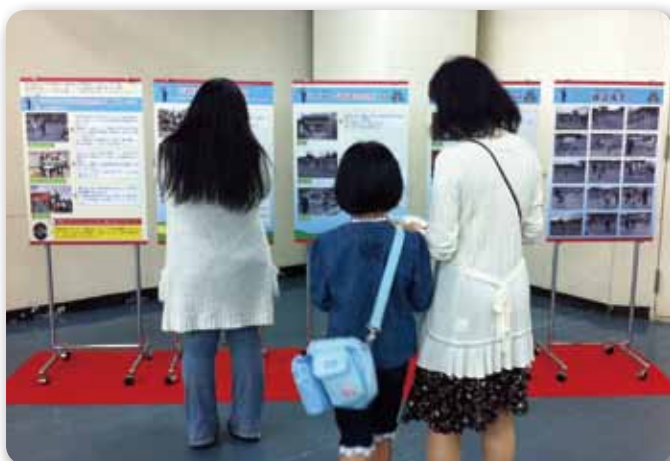
子どもたちから杉田さんは「監督」房子さんは「コーチ」と呼ばれ非常に慕われています。

警察人生の30年を、地域の活性化のために尽くしてきた杉田さんは、重松流剣道子の名人でもあります。

その剣道子の技術を実地で子どもたちに教えたり、地域のお祭りやイベント行事で披露したりして地域のコミュニケーションを、はかっています。

杉田さんからサイクルドリームフェスタに、お越しのみなさんへのメッセージ

自転車に乗るときは、とにかく事故の無いように、しっかり左右の確認をしてください。また、今日ここに来たみんなは代表者です。他のおともだちにも、安全に自転車に乗ることの大切さを伝えてほしいと思います。



5月4日に来場された杉田警部補夫妻と元木小学校の子どもたち。

てら けいだい じてんしゃあんぜんりよう しどう
お寺の境内で「自転車安全利用」を指導



宝生寺
毎年春頃から週に3回程度、八王子にある宝生寺の境内にて自転車の指導をおこなっている杉田実貴。
今年までに指導した子どもは、延べ400人以上。
毎年10人以上の子どもたちが参加します。



ジグザグ走行
今年は全員女の子です。みんな真剣に取り組んでいます。
境内の広場では、様々な乗り方の練習をおこないます。
ピンを使ったジグザグ走行の練習では、急な飛び出しや、障害物にも対応できるようにハンドルの切り方を訓練。



狭い道のり走行
狭い通路を25秒以上の時間をかけて、両側の壁に触れないようにゆっくり進む練習ではバランス感覚を身に付けます。
また、幅の狭い2枚の板の上を走行する板のり走行では、バランス感覚だけではなく、ハンドルの使い方や自転車の内輪差を学びます。



てら けいだい じてんしゃあんぜんりよう しどう
お寺の境内で「自転車安全利用」を指導



実践だけではなく、交通のルールもみんなでお勉強。
房子さんは子どもたちにノートを2冊くばり道路標識やマナー、ルールを絵に描かせたり、クイズを出したり、ポイント制にしたりと、楽しく覚えられる工夫もおこなっています。



ノート
子どもたちも積極的に参加しています。なかには覚えるのが楽しくて家まで出かけるときもノートを持参する子どもまで！



練習風景
子どもたちは覚えたことを、他のおともだちに伝えて、交通安全の輪がどんどん広がっていき、子どもの交通事故も少なくなったそうです。
また自転車に大切な「思いやり」「譲り合い」の気持ちも子どもたちは育んでいるようです。



集合写真



こうつうあんぜん こ じてんしゃとうきょうたいかい
交通安全子ども自転車東京大会

東京都内の小学生が、自転車の安全で正しい乗り方を競う、交通安全子ども自転車東京大会。
(主催：警視庁交通部、東京交通安全協会 後援：東京都教育委員会)



実践400点、学科600点の計1000点で競います。
実践は5字・ジグザグ走行・登乗り、二枚の板乗りなど、安全そして正確に自転車を乗るための技術を競います。
昨年第46回大会では、52チーム208人が参加しました。



昨年はその大会で八王子市立元木小学校は8連覇を達成！
個人の部でも1位～3位を元木小学校の子どもたちが独占しました。



子ども達の、連覇を止めたくないという意欲が優勝に繋がったようです。
現在は、今年の夏の9連覇に向けて、練習をはじめています。
杉田さんが指導をはじめた当初は、市の大会に出るだけで満足だった子どもたちの意欲が、練習を重ねるうちに変わってきました。
ただ出るだけではなく、「優勝したい」「都大会に連れて行ってほしい。」子どもたちの良くてくやがる姿に後押しされ、杉田さんは週1回の練習を週3回に変更。
独学で色々な練習方法を取り入れました。
学科は、房子さんが研究を積み重ね、どんな問題が出てても対応できるように幅広く教えています。
その甲斐あって、初めて出た都大会では6位入賞！そして平成16年から平成23年まで連覇中。今年ももちろん優勝をねらいます。
*第47回交通安全子ども自転車東京大会は7月1日(日)に実施されます



れんしゅう ふうけい
練習風景



アトラクション等

自転車発電ウエスタントレイン

5/4(金)・5/5(土) 9:30~16:50

自転車を漕ぐと発電して動き出すウエスタントレイン。子どもを乗せ一生懸命自転車を漕ぐ姿も。



自転車シミュレーター

5/4(金)・5/5(土) 9:30~16:50

自転車を運転する際に起こりうる危険を模擬体験することができる、自転車安全走行シミュレーター。



おもしろ自転車試乗会

5/4(金)・5/5(土) 9:30~16:50

ペダルやチェーンのない自転車や四輪自転車、二人乗り自転車などおもしろ自転車の試乗会を実施。

〈協力:(財)日本サイクルスポーツセンター〉



スピードチャレンジ

5/4(金)・5/5(土) 9:30~16:50

固定自転車で回転速度を測定。
性別、年代別に目標速度を設定し挑戦。



クイズラリー

5/4(金)・5/5(土) 9:30~16:50

会場内のパネルから回答を見つけるクイズラリーを実施。
自転車の安全利用を周知した。



針金自転車細工

5/4(金) 12:00~12:30、15:00~15:30

小島政治さんは日本でも数少ない針金細工職人。直径1.6mmの針金をペンチで細工し、子どもたちの前で自転車を作り上げた。



自転車市民権宣言署名活動

5/4(金)・5/5(土) 9:30~16:50

自転車の「市民権」確立を図るべく、市民権宣言の署名活動を実施。



バイコロジー紹介パネル



自転車整備啓発パネル
＜協力：(財)自転車産業振興協会＞



インフォメーション

災害用自転車の展示

〈展示協力: (財) 自転車産業振興協会〉

復興支援用自転車

ブリヂストンサイクル(株)



後輪を回転させることにより発電され、充電ユニットへ充電できます。

リキシャタンク20型

(株) サイクルスポット



太いタイヤで悪路の走行も可能。また後輪のダイナモを利用して給電を行えます。

シクロクリーン 自転車搭載型浄水装置



災害時に飲み水を造ることができる自転車。

自転車とヘルメットの展示

DE ROSA

〈協力: (株) 日直商会〉



子ども用MTB



自転車競技の紹介

自転車競技紹介



ツアー・オブ・ジャパン紹介



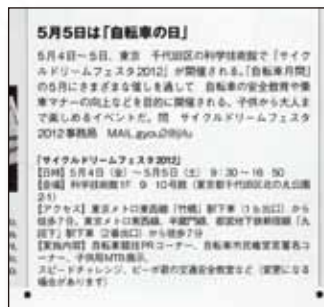
広報展開等

ポスター(A1)・チラシ(A4)



開催告知広告

バイシクルクラブ5月号 (株) 推出版社



インターネット記事

サイドリバー



サイクルスポーツ



シクロワイアード



サイクルドリームフェスタ2012 記事掲載誌

サイクルプレスジャパン6月号 (株) インタープレス



交通安全教育6月号 (一財) 日本交通安全教育普及協会



バイシクル日本 (株) ワールド



日本が生んだ世界のスポーツ



自転車月間推進協議会／構成団体

(一財)省エネルギーセンター	(財)日本ユースホステル協会	(一社)自転車協会
(公財)日本ユースリーダー協会	(公財)日本レクリエーション協会	日本自転車軽自動車商協同組合連合会
(公財)健康・体力づくり事業財団	(公財)ボーイスカウト日本連盟	(一社)全日本実業団自転車競技連盟
(公財)あしたの日本を創る協会	(公社)ガールスカウト日本連盟	(財)日本車両検査協会
(財)全日本交通安全協会	(財)自転車産業振興協会	(公財)日本交通管理技術協会
(社)中央青少年団体連絡協議会	(財)日本自転車普及協会	(財)自転車駐車場整備センター
(一財)日本交通安全教育普及協会	(財)日本サイクリング協会	(社)日本観光振興協会
(公財)日本自然保護協会	(財)日本自転車競技連盟	日本レンタサイクル協議会
(公財)日本体育協会日本スポーツ少年団	(財)日本サイクルスポーツセンター	バイコロジをすすめる会連絡協議会
(社)日本PTA全国協議会	(財)自転車センター	(公財)日本障害者スポーツ協会

(全30団体)

自転車月間推進協議会

〔事務局 (財)日本自転車普及協会内〕 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3 <http://www.bpaj.or.jp>